

親切活動の取組について

学校名 高岡市立志貴野中学校

生徒数 489名

1 親切活動の取組の紹介

(1) 落葉清掃ボランティア

本校の隣には市役所、付近には高等学校が複数あり、朝夕は通勤の職員や通学の学生で人通りが多い。本校周辺の歩道には、秋から冬にかけて、街路樹や本校の駐車場にあるポプラやすすかけの木の落ち葉がたまり、通行の妨げになることもある。

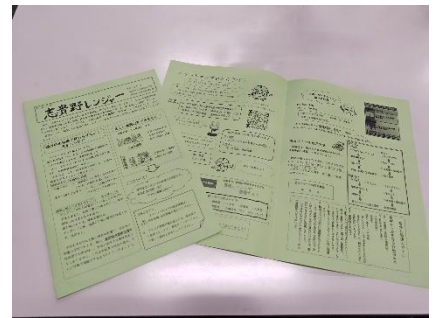
本校の生徒会役員、生活委員が中心となり、清掃週間を設けクラスごとに日を決めてボランティアを募り、歩道や校舎敷地内の清掃活動を行った。清掃運動は、朝の心地よい空気の中、多くの生徒・教員と心を通わせることができる機会となり、生徒会の結束力を高めることができた。また、通勤や通学途中の方に挨拶を行い、気持ちのよい1日のスタートをきることができた。今後も、各委員会や地域と連携し、よい影響を与えられるような活動を継続していきたい。



(2) 防災新聞の作成・配付

本校校区は、大雨時の河川の増水による被害や地震による津波の被害が想定される地域であり、防災への関心が高い。志貴野中学校区の全家庭に配布し、活用していただける、地域の防災についてまとめた防災新聞を3年生の有志の生徒で作成・配付した。防災新聞の作成にあたり、

- ① 原稿は、高岡市の危機管理課にも相談し、資料提供を依頼、原稿の確認もしていただいた。
- ② 執筆担当生徒が啓発ビデオを作成し、全校生徒やPTA常任委員会で視聴した。
- ③ 印刷された新聞が校区の全家庭に届くように配布準備の袋詰めを行った。



この活動を通して、全校生徒の防災への意識を高めることができた。また、全校生徒が防災新聞をもとに、家庭で防災について話し合い、いざという時の備えについて、家庭から地域へ発信できるようにした。防災について、地域全体で考えることができるようにこの活動を続けていきたい。

2 親切運動に取り組んで

○ 取組の成果

地域清掃活動の範囲を広げるなど、生徒のボランティア精神が向上するような活動を引き続き行いたい。防災新聞は、今年度初めて行った活動である。地域の方の関心も高く、今後は様々なテーマで、防災についての意識を高めるような新聞の作成を続けていきたい。

○ 課題と今後に向けて

変化の激しい時代の中で、今後何が必要なのかを考えながら、さらによりよい活動になるように考えていく必要がある。